

科目名 (Eng)									
担当教員									
対象学年等	専攻・学年	授業期間・区分・単位数・時間数				分野	形態	学修単位科目	
		前後期 通年	必修 選択					該当する場合 ○	
目標基準 との対応	福島高専の教育目標との対応：								
	修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：								
		JABEE基準1(1)との対応：				JABEE必修科目 (該当する場合)			
授業の概要と方針									
到達目標									
授業計画									
	週	授業項目	理解すべき内容				事前学習		
前期	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
試験について									
評価方法									
教科書									
参考書									
関連科目									
履修上の注意									

科目名 (Eng)		都市経済学(Urban Economics)							
担当教員		芥川 一則							
対象学年等	専攻・学年	授業期間・区分・単位数・時間数				分野	形態	学修単位科目	
	ビジネスコミュニケーション学専攻	2	後期	選択	2	(30)	専門	A	○
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(A-2)．(B-2)．(C-1)．								
	修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：1)．2)．3)．4)． JABEE基準1(1)との対応：a. b. d-(1)．d-(4)．h								
授業の概要と方針		都市の形成過程でみられる規模の経済、集積の経済について取り上げる。輸送費最小化の観点から見た企業の立地点、アロンゾ型都市モデルにおける地代決定メカニズム、そして都市規模と都市システムについて講義する。							
到達目標		都市の形成過程からその構造を理解することにより現実の問題の分析能力を身につける。							
授業計画									
	週	授業項目	理解すべき内容				事前学習		
後期	16	はじめに	導入と授業の進め方				テキストの目次を確認する		
	17	都市はなぜ形成されるのか (1)	機会費用、比較優位				テキストで今回の内容を確認しておくこと		
	18	都市はなぜ形成されるのか (2)	規模の経済、集積の経済				テキストで今回の内容を確認しておくこと		
	19	都市はどこに形成されるのか	輸送費最小化				テキストで今回の内容を確認しておくこと		
	20	都市内の土地市場	地価と地代				テキストで今回の内容を確認しておくこと		
	21	都市内土地利用と地代の決定 (1)	アロンゾ型都市モデル				テキストで今回の内容を確認しておくこと		
	22	都市内土地利用と地代の決定 (2)	家計の行動				テキストで今回の内容を確認しておくこと		
	23	都市内土地利用と地代の決定 (3)	市場地代の決定				テキストで今回の内容を確認しておくこと		
	24	都市内土地利用と地代の決定 (4)	土地利用の効率性				テキストで今回の内容を確認しておくこと		
	25	都市内土地利用と地代の決定 (5)	企業の立地行動				テキストで今回の内容を確認しておくこと		
	26	サブセンターの形成	都市の拡大とサブセンター				テキストで今回の内容を確認しておくこと		
	27	土地利用の規制	ゾーニングの必要性				テキストで今回の内容を確認しておくこと		
	28	都市規模と都市システム	市場都市と中心地理論				テキストで今回の内容を確認しておくこと		
	29	総合復習 (1)	専門用語の確認				用語の整理しておくこと		
30	総合復習 (2)	専門用語の確認				用語の整理しておくこと			
試験について		100分の試験を実施する。							
評価方法		定期試験の成績を80%、課題を20%として総合的に評価する。							
教科書		都市経済学の基礎、佐々木公明・文世一、有斐閣アルマ, プリント資料他							
参考書									
関連科目									
履修上の注意		自学自習の確認方法－課題プリントを学生に配布し、それを定期的に提出させる。							

